

臓腑の中医学概念及び臨床応用

上海中医薬大学付属日本校 陳 雷 2025 年 05 月

一、臓腑の中医学概念

（一）臓腑の定義

臓腑は内臓の総称で、臓と腑二種類に分けられます。

- 臓は、蔵に通じて、貯える意味です。中医学の臓は精気を蔵する内臓です。
- 腑は、府に通じて、出入変化の意味です。中医学の腑は水穀を転化する内臓です。

（二）臓腑の内容

- 1. 臓 肝臓 心臓（心包） 脾臓 肺臓 腎臓
- 2. 腑 ①六腑： 胆腑 小腸腑 胃腑 大腸腑 膀胱腑 三焦腑
②奇恒の腑： 胆 脳 骨 髄 脈 女子胞

（三）臓腑の生理機能

- 1. 臓の機能 精気の蔵し ●蔵 ●主/司 ●その他
- 2. 腑の機能 水穀の伝化 ●消化 ●伝送 ●その他

二、臓腑の臨床応用

（一）五臓中心の整体観念

	蔵		象									
五行	臓	腑	官	体	華	液	志	声	色	味	臭	変
木	肝	胆	目	筋	爪	涙	怒	呼	青	辛	膻	握
火	心	小腸	舌	脈	顔面	汗	喜	笑	赤	苦	焦	憂
土	脾	胃	口	肉	唇	涎	思	歌	黄	甘	香	噦
金	肺	大腸	鼻	皮	毛	涕	悲	哭	白	酸	腥	咳
水	腎	膀胱	耳	骨	髪	唾	恐	呻	黒	鹹	腐	慄

(二) 臟腑相互影響の診治特徴

	内外表裏	同病兼症	生克乗侮
診断	有諸内者、必形於外 診外知内	多臓同病 (心腎不交・肝脾不調 等) 臓腑同病 (肝胆湿熱・肝胃不和)	母病及子 子病犯母 肝木乗土 木火刑金
治療	治外達内 治内解外	同病異治 異病同治	滋水涵木 培土生金 抑木扶土

(三) 基礎弁証法である臟腑弁証

1. 臓病弁証
2. 腑病弁証
3. 臓腑同病弁証

例：脾胃の臓腑弁証